



活力ある秋田 Vol. 69

優しさ 温かさで つながる世界

[秋田市観光クチコミ大使]

野村證券(株) 人権啓発室長 前田 暁 史 氏

私には、残念ながら一昨年お亡くなりになられた心から尊敬する大学の恩師がいます。恩師に大学卒業時「初任地が秋田だ」と伝えたところ、「前田君、地元の銀行いじめないでね」という意外なお言葉。赴任してみると恩師のお父上は引退された地元銀行の名頭取。毎夏、先生が里帰りされるとご自宅にお邪魔し深夜までご一緒させていただきました。20年後2回目の秋田勤務は支店長でした。なんとというご縁なのでしょう。特に2回目の4年間の思い出は尽きません。

そして、当時の秋田支店で商工会議所やロータリークラブをはじめとして色々な会合で集まっていたメンバーの皆様とも、支店で一緒に働いていたメンバーとも約10年してもなお集まりが続いています。これも当時の楽しさを倍増させてくれています。多くの支店に勤務しましたが、こういう集まりは最初の2年くらいは続いても、10年しかも日常接触のない社外の皆様とも続くのは他の地域ではないことです。ちなみに2月も1回は東京で1回は秋田で集まりがあります。

なぜ続くのか？ 厳しい冬の経験で他の地域にいるより一体感や絆を感じるという面もあります。でも、何より秋田に住む人の優しさ温かさ故だと思います。入社以来私は転勤12回、日本各地の支店



で働きました。どの土地に行ってもやはり地元の人以外には排他的な部分があります。でも秋田ではそれはあまり感じませんでした。東京でも最近「秋田のあの酒はおいしい」という声を良く聞きます。進化するお酒、伝統を守るお酒がま

た会合の華になります。

私のいる金融の世界でいえば、私のいたころ秋田は日本の高齢化の先頭走者でした。今や東京では豊島区も将来消滅すると言われていています。地元の金融機関も当時提携のうわさが出ていました。今や全国の金融機関が一番気にしている話題が提携合併です。秋田で起きていることはまさに日本の「さきがけ」。少なくとも金融ではそう見えます。でも、一方で秋田に軸足を置きながら、県外、国外で活躍する企業も増えてきていると聞きました。頼もしい限りです。

私は現在、人権関係の業務をしているため、ヘイトスピーチをはじめとする日本中国韓国の関係の情報は毎日ネットなどで注目して見えています。最近個人の本音ベースでは中国をはじめとするアジアの人から日本人の優しさや温かさを称賛する声があふれてきています。日本人のこの優しさや温かさがアジアや世界から尊敬される時代が来ると思います。そしてその時、日本の「さきがけ」となっているのは経験上絶対秋田だと思います。

私も秋田の素晴らしさを少しでも多くの皆様に伝えられるよう周囲に発信していきます。



■略歴

1958年 長野県生まれ。学習院大学卒業

1982年 野村證券入社。秋田支店配属

2001年～2005年 秋田支店長

(以後沼津支店長、長野支店長、総務部長)

2012年 人権啓発室長(現在に至る)